

■洞薬会（北九州地区勤務薬剤師会） 10 月度学術講演会

（2014/10/16, 18:30～, 会場；ステーションホテル小倉）

## 「経口血糖降下薬」～服薬指導のポイント～

九州大学大学院医学研究院 病態機能内科学 中村宇大 先生

---

### 〔講演要旨〕

2012 年に推計 950 万人とされる我が国の糖尿病患者はいまだ増加に歯止めがかからず、超高齢化社会を迎えた我が国において健康寿命を延ばすためには糖尿病の管理も重要な課題である。糖尿病合併症の発症予防のためには早期からの厳格な血糖管理のみならず、血圧・脂質・体重を含めた全身管理が必要とされるが、従来の糖尿病治療薬には低血糖、体重増加という問題がいくつかみられた。そのような中、今年 4 月に我が国で新しい作用機序を有する SGLT2 阻害薬が発売された。発売前から多様な副作用発症への懸念が持たれていたものの、重篤なものを含む副作用が数多く報告されている。本講演会では変わりゆく糖尿病治療薬のうち、特に経口血糖降下薬に焦点を当てて、糖尿病患者の服薬指導にかかわる薬剤師が知っておくべきことについて解説する。